



祇園祭の山鉦、浄妙山。
その眼前に在るべき風景を築く。

外観完成予想図



DESIGN

鉦町としての連帯と作法。

その誇りの心脈を静かに纏う。

祇園祭の山鉦、浄妙山を眼前に臨む地。

人知れず息づく秩序が、町の格と気品をかたちづけてきた。

邸宅に纏わせるのは、幾つもの歳月を重ねて

この地で培われてきた奥ゆかしき誇り。

京町家の伝統と、都心に息づく進取の気風。

どちらにも呼応する意匠とともに、次代の風景を織りなしていく。

角住戸率約85%
(総39邸中33邸)

プレミアムフロア(9~11階)
1フロア2邸 136㎡・144㎡

駐車場10台設置
優先権対応住戸あり*

コンシェルジュサービス
採用

*非権利に転譲が限られます。

外観完成予想イメージ



©JAPAN IMAGES

HERITAGE

祇園祭の山鉦「浄妙山」の鉦町。
京町家が建ち並ぶ「六角通」。

夏の風物詩として人々を魅了する山鉦の眼前に。

日本三大祭・祇園祭の山鉦「浄妙山」が眼前に。浄妙山は平家物語の橋合戦に由来する山で、躍動的な人形の姿で知られています。浄妙坊が織り廻す「黒堂威用巨朋丸(くろかわおどしがしらどうまる)」は京町時代につくられたもので重要文化財に指定。艶やかなその佇まいは、京の夏の風物詩として人々を魅了し続けています。



六角堂(徒歩2分/約10m)

京都の真ん中に佇む古刹、紫雲山頂法寺(六角堂)。

聖徳太子が建立した古刹。本堂が六角形を成していることから六角堂と呼ばれ、六角通の名前の由来となっています。いりばな免発祥の地としても知られ、「華道家元池坊専」としても知られています。本堂前にある「へそ石」は本堂古跡の石と伝えられ、ここが京都の真ん中ともいわれています。



角丸和町屋

POSITION

四条烏丸の最寄り、烏丸六角。
京中区・田の字地区の中心部。

ここは、千二百年の古都の品格がもともと濃密に息づく場所。

京中区・田の字地区の中心部にして、

京都のシンボルストリート・烏丸通と四条通に寄り添う「烏丸六角」。

深い歴史と由緒を宿し、街の佇まいそのものが品格を語り継いできたアドレス。

ついに巡り逢えたこの地に、京の核心を住みこなす私邸を。



四角烏丸交差点(徒歩6分/約170m)

VALUE

「京中区×烏丸通沿い」の価値。

1995年以降、京都市中京区で供給された新築分譲マンションは436件。そのうち、烏丸通沿いに位置する物件は本件を含めて3件(約1.2%)。*1 京都市の地区計画により、民間住宅を建築する際は、烏丸通から20mセッパクする必要があるため、物件供給数は限られています。